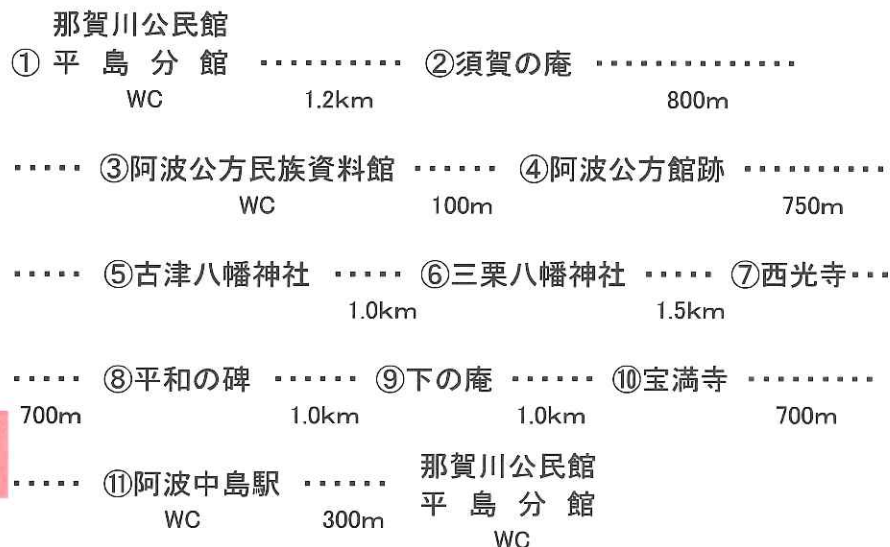


阿南健康第13番完歩 公方の道



公方おもかげの道

阿南健康第13番完歩 公方の道



●**須賀の庵** 八代公方義宜が招いた京の名儒島津華山をはじめとして、公方家の家臣の多くが葬られた墓所である。家臣の墓も公方や華山の影響を受け、墓碑を刻んだものが多く興味深い。華山の墓は、亀に載った亀趺という様式で、墓を整備したときに銅板の墓誌が発見され、墓誌は資料館に展示されている。亀趺も墓誌も中国古来の伝統で全国的にも珍しく、公方と華山の知識の高さがうかがわれる。

●**阿波公方館跡** 「御所」とも呼ばれ110メートル四方の広大な敷地に、京都の公家屋敷、武家屋敷を兼ねた豪勢なものであったと伝えられている。初代公方義冬から九代公方義根が退去するまで約270年間阿波公方が代々居住した館である。公方義根が京都へ帰ると同時に館は取り壊され、建物は各地に移築され、敷地は水田に開かれた。小松島市地蔵寺の玄関の書院、阿南市吉祥寺山門などが遺

構として知られている。水田にはお屋敷・馬場・お花畑などの地名が残されている。

●**阿波公方民族資料館** かつての平島公方館跡に昭和63年に建設され、阿波公方に関する歴史資料が保存、展示されている資料館で、足利氏をしのぶ貴重な文化財がある。

●**古津八幡神社** 公方館にあった三社さんが合祀され、初代平島公方足利義冬が寄進した石灯籠がある。

●**三栗八幡神社** 平島公方の尊崇神社として知られ、七代足利義武建立の石灯籠が2基残っている。

●**西光寺** 昭和17年火災により本堂は焼失したが、仁王像のある山門が残っている。また、菊花と二つ引両の紋章の入った冠木門があり、ここは十代将軍義種、十四代将軍義栄を始め、初代阿波公方から八代阿波公方義宜まで歴代公方の墓所でもある。

●**下の庵** 下の庵の門は、公方館の小門の一つであったと伝えられている。

●**宝満寺** 今から三百年余の昔、西光寺から独立したと言われている。現在県下でも非常に数少ない阿弥陀堂が残っているだけに室町時代には大変栄えた寺でなかろうかと言われている。本堂は、方丈形式で入母屋造りの本瓦葺き、鎚破風向拝を持つ一般的な建物である。大師堂は1800（寛政12）年に完成、ほかに鐘楼があり、大師堂以外はすべて近世以前と思われる建造物である。大師堂建立にあたり九代公方義根が書いた古文書が現存している。